日本赤十字社 長浜赤十字病院
Japanese Red Cross Society
人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

地域医療連携だより

Vol.271
2026年1月号

長浜赤十字病院　　地域医療連携課
〒526－8585　滋賀県長浜市宮前町14－7
TEL　0749－68－3314
FAX　0749－68－3315

地域医療支援病院・救命救急センター
地域周産期母子医療センター
災害拠点病院・災害拠点精神科病院
滋賀県地域がん診療連携支援病院
滋賀県基幹原子力災害拠点病院

新年のご挨拶

病院長　楠井 隆

あけましておめでとうございます。
日頃は当院の運営に多大なご理解をいただき誠にありがとうございます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年が明け、21世紀最初の四半世紀がおわりました。新型コロナウイルス事態もほぼ完全に収束した感があり、また、新たな一年そして新たな四半世紀の出発とも言えるでしょう。2025年度末をターゲットとした地域医療構想は我が湖北地区では道半ばの感がありますが、気を取り直して取り組んでいきたいと思います。

コロナ禍の間は、世の中も異常な動きをしたと思いますので度外視せざるを得ません。しかし、それまではデフレ、低金利で「失われた30年」とも言われる時代でした。それが、ここのところ逆にインフレが問題となってきています。政府の体制も変わりましたが、時代は不確実性の時代となっている様です。「VUCA(Volatility: 変動性、Uncertainty: 不確実性、Complexity: 複雑性 Ambiguity: 曖昧性)の時代」などとも言われます。インフレは公定価格制である医療や福祉にとっては厳しい局面です。それでなくてもここ10年以上高齢化社会において増大し続ける医療・介護・福祉費を「適正化する」との名目で診療報酬・介護報酬は抑制され続けています。この時代を乗り切るためには今まで以上に地域一丸となって取り組む必要があると思います。

そして、医療・介護・福祉に限らず「改善」のためには「PDCAサイクルを回して」ということが長く提唱されていますが、VUCAの時代には劇的な改変も必要となります。ゼロベースでの再構築です。そのためには誰もが自由に発言でき、妥当な発言が全て顧みられ検討される関係が重要だとされます。当院に対するお叱りを含め忌憚のないご意見をお待ちしております。

さて、病院再編のスケジュールが見えない中、施設・機器の整備・維持の計画立案はかなり制約条件が多い現状です。その中で患者さんに優しい胃カメラや大腸カメラ、カテーテルを使った内科的治療、内視鏡手術用支援ロボットに加え人工関節手術用支援ロボットを導入しました。年頭に当たり技術面だけではなく心理・社会面でも「患者さんに優しい医療」という当院の理念をさらに充実させるべく決意を新たにしているところです。

昨年12月からはWeb予約システムの運用も始めました。現時点では全診療科、全検査種、全ての項目で対応できていませんが、徐々に対応範囲を広げていく予定です。従来通りの電話やFAXでの予約も継続してご利用いただけますが、当院の業務時間外でも予約をお取りいただけるのが利点だと思います。システムはまだまだ発展途上と言えます。皆様のご意見をいただきながら改善していきたいと思います。

小児および精神科領域では最近診断例も多く、報道でもしばしば話題とされる小児等の発達障害やその周辺の病態に対応すべく精神科の児童思春期病棟の開設に向け準備を進めているところです。少子化が進む中、数少ない子供たち一人一人を大事に育てていくことは当院にとっても大きな使命だと思っております。本年は、かつて出生数が劇的に少なくなる丙午の年ですが、そのようなことは起こらず、むしろ最も威力の強い午年として大きな飛躍の年になることを祈念いたします。

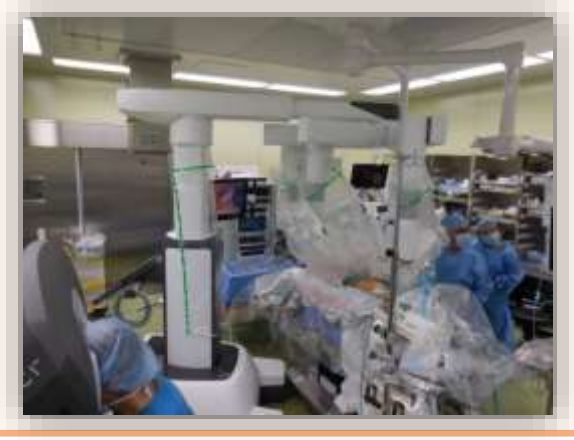
ロボット支援下手術 ～ 大腸癌領域 ～

外科部長
谷口 正展

大腸癌に対する低侵襲手術の分野においてロボット支援下手術は目覚ましい進歩を遂げております。従来から行われてきた腹腔鏡下手術においても開腹手術と比較して、出血量の減少、術後疼痛の軽減、術後腸管蠕動の早期回復や入院期間が短いなどの短期成績が優れていることが報告されていました。ただ一方で直線的な鉗子による可動制限や、術者や助手の手ぶれの不安定性なども指摘されてきました。その中で開発されたロボット手術は、多関節で可動域の広い鉗子、手ぶれ防止機構、高解像度３次元画像下での操作などの特徴を有しており、従来の腹腔鏡下手術での技術的課題が克服されてきております。現在もさらなる技術開発が行われており、今後の発展が期待されています。

ロボット手術のエビデンスも増えてきており、直腸癌手術においては腹腔鏡手術と比較して開腹移行率の低下や、性機能や排尿機能障害の減少が示されております。さらに 2025 年に報告されたRCT では、腹腔鏡下手術と比較し３年局所再発率や無再発生存率の低下も報告されております。結腸癌手術においてはまだエビデンスは少ないものの、腹腔鏡下手術と比較し開腹移行率の低下や合併症発生率の低下、在院期間の短縮、郭清リンパ節個数の増加などが報告されています。

当院は湖北湖東地域において唯一ロボット手術が行われている病院です。大腸癌領域においては 2018 年より直腸癌、2023 年より結腸癌において導入しております。現在までに直腸癌に対しては 77 例、結腸癌に対しては 25 例施行し安全に導入できており、術者資格を持った医師も増加しております。実際、難易度が高い術前治療後の低位直腸癌症例や、より低侵襲な体腔内吻合を伴う結腸癌症例などにもロボット手術の利点を実感しており、今後ますます増えていくものと考えられます。当院ではこの最先端の外科手術を今後も提供し続け、地域医療に貢献していきたいと考えております。



患者紹介 WEB 予約システムの運用を開始しました
～ アカウント登録・WEB 予約ご利用のお願い ～

当院では、地域の先生方からの紹介患者さんの予約をより円滑に行うことを目的に「患者紹介予約システム」を導入し、12 月から運用を開始しております。

従来通りの電話・FAX による予約受付は継続しておりますが、WEB 予約をご活用いただくことで、よりスムーズな予約対応が可能となります。本システムは、パソコンやタブレットから、簡単にご利用いただけますので、まだアカウント登録がお済みでない医療機関様におかれましては、この機会にぜひご登録いただきますようお願いいたします。

地域の先生方と患者さん双方にとって利便性の高い連携体制を目指し、今後も運用改善を重ねてまいります。ご不明な点がございましたら、地域医療連携課までお気軽にお問い合わせください。

medigle 予約

※ 今月の診療日割り表に変更はありません。